

神田キャンパスに小・中・高生ら300人

お正月故郷を歌おう&新年初踊り・大江戸ダンス

神田キャンパスで1月7日、日本の童謡や唱歌を歌い継ぐことで絆を深めようと「お正月故郷(ふるさと)を歌おう&新年初踊り・大江戸ダンス」(専修大学後援)が行われた。昨年の明治大学での開催に続き2回目となる今回は、300人の小・中・高校生などが参加した=写真。



主催はダンスを通じて子どもと大人の交わり、地域づくりを目指している「大江戸ダンスNPO」。99年に設立され、毎年9月、都庁前で「連」(踊りのチーム)が集まって「大江戸ダンス」を開催し人気を呼んでおり、各地域でも「わが町大江戸舞祭」を実施している。

黒瀬直宏商学部教授の歓迎のあいさつの後、第1部では、「1月1日」、「どこかで春が」、「花」などの懐かしい12曲が舞台とフロアに響き渡った。第2部の「新年初踊り大江戸ダンス」では、13の「連」が振り付けに工夫を凝らして、元気いっぱい「踊り初め」を楽しんだ。

会場は暖房を止めるほどの熱気で、長谷川記一代表の「箱根駅伝シード権獲得おめでとう」という言葉で閉会した。

情報科学研究所シンポジウム

情報システム業界の現状を語る

情報科学研究所(綿貫理明所長)では、学生にキャリアプランを意識させるため、SE業界から2人を招き、「情報システム業界の現状と課題」というテーマのシンポジウムを12月21日、生田キャンパスで開催した。

ハマゴムエイコム(株)人事部の永井麻紀子さん(平14経営)が、「SE(システムエンジニア)」の仕事内容を紹介し、自身の就職活動体験から、コミュニケーション能力が大切であり、学生時代にさまざまなことを経験し、積極的に行動してほしいとエールを送った。

富士通(株)官公庁ソリューション事業本部センター長の遠藤明さんが、長年システムエンジニアとして担当してきたさまざまなプロジェクトの内容や苦労などを具体的に語り学生時代に専門知識の向上、資格取得に努めてほしいと締めくくった。

日高理事長・学長がtvkの対談番組「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」に出演

世界的に有名な声楽家の佐藤しのぶさんが、さまざまなゲストを迎える対談番組「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」(テレビ神奈川)に、日高義博学校法人専修大学理事長・専修大学学長が出演した。

1月18日にテレビ神奈川本社(横浜市中区)で行われた収録では、日高理事長・学長のドイツ留学や趣味(居合道、尺八など)の話について、「社会知性の開発」をビジョンに掲げる本学の取り組みや、将来像などについて熱く語った。

なお、番組は、2月19日(月)21時より放映される=写真。



《短信》

◆知事〈宮崎県〉◆

東国原 英夫氏(ひがしこくばる・ひでお=昭55経済)49歳。初当選。1月21日投開票。